

第3次つくば市 環境基本計画[改定版] 概要版

第3次つくば市環境基本計画を改定しました。改定では、複数の分野のつながりを踏まえ、互いに良い影響を与え合いながら循環していく関係性をより重視しました。その上で、四つの環境分野すべてに共通する横断的な目標を設定しました。

山々や池沼、河川、里地里山などの自然環境や美しい景観を維持するとともに、生き物の生息・生育環境を保全し、ネイチャーポジティブを推進します。



基本目標2 自然環境 生物多様性

- ・生物多様性の保全・回復
- ・緑の創出・質向上

市民・事業者・市の協働により、きれいなまちづくりを推進するとともに、公害の低減を図り、快適で心地よい生活環境を確保します。



緑化の推進等による気候変動適応の促進

気候変動に伴う生態系への影響の抑制

基本目標4 安心で快適な生活環境

- ・きれいな生活環境の確保
- ・環境基準の遵守

資源循環による自然資本の持続性確保

持続可能な資源の供給

横断的目標① 教育・啓発

横断的目標② 環境×経済

気候変動の緩和策と適応策を進め、脱炭素と利便性・レジリエンスの向上を図るまちづくりを推進します。

基本目標1 脱炭素

- ・温室効果ガス排出抑制
- ・気候変動への適応



製品の製造・廃棄などに伴う温室効果ガスの削減

廃棄物のエネルギー利用

基本目標3 循環型社会

- ・3Rの推進
- ・廃棄物の適正処理

市民・事業者・市が連携し、資源の浪費を抑制するとともに、3Rを推進し、資源効率性の向上を図ります。



本計画の施策体系と個別計画との関連性

本計画は、市の環境政策を総合的かつ計画的に推進するための方向性や基本方針を示す「マスタープラン（基本計画）」です。特定の分野ごとに具体的な目標や市が実施する施策は、それらを実行していくための「アクションプラン（実行計画）」で推進します。

基本計画 第3次つくば市環境基本計画[改定版]



基本目標 1	先進的な脱炭素都市を形成して気候変動に対処する 1-1 脱炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進 1-2 まち・建物の脱炭素化 1-3 交通システムの脱炭素化 1-4 気候変動への適応
基本目標 2	豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ 2-1 生き物・生態系の保全・活用 2-2 都市の緑を創出し、質を高める 2-3 自然とふれあう
基本目標 3	資源を賢く使う循環型社会形成を加速する 3-1 3Rの推進 3-2 廃棄物の適正処理
基本目標 4	安心で快適な生活環境を次世代につなぐ 4-1 きれいな生活環境の確保 4-2 安全で安心できる生活環境の確保

横断的
目標①
市民・事業者が共に環境を学び、考え、行動する

横断的
目標②
環境と経済の好循環を目指す

各実行計画



地球温暖化対策実行計画
区域施策編



地球温暖化対策実行計画
事務事業編



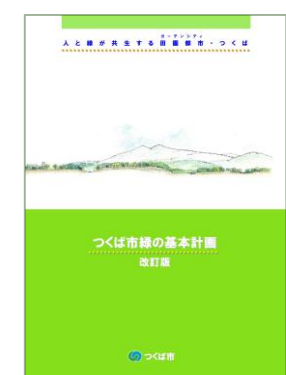
一般廃棄物処理基本計画



生物多様性つくば戦略



きれいなまちづくり行動計画







緑の基本計画




etc....

市民・事業者に期待される取り組み一覧（本編抜粋）

市民編

基本目標	期待される取り組み
基本目標1 先進的な脱炭素都市を形成して気候変動に対処する 	製品やサービスを購入する際は、省エネ型のものを選択し、環境に良い製品の普及促進に努める
	家庭でのエネルギー使用量を把握し、家庭でできることを考えて、省エネ型の生活に転換する
	新築・既存住宅への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入、改築の際の断熱改修や省エネ設備の導入を進める
	可能な限り、自家用車の代わりに公共交通機関や自転車を利用する
	自家用車をEV等へ転換する
「つくば市防災ガイド 洪水・土砂ハザードマップ」を確認するなど、風水害に対する事前の備えを行う	
基本目標2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ 	市や市民団体などが主催する自然環境調査や保全活動などに積極的に参加する
	平地林などの森林や身近な里山を大切に、学習の場として活用するとともに、それらを守る活動を実施する
	外来種による地域固有の生態系への影響を認識し、特定外来生物を発見した場合には駆除する
	庭やベランダ等で、生物多様性に配慮した緑地や水辺を増やす
	筑波山や自然体験施設、身近な川、公園を訪れ、自然と親しみ、理解を深める
基本目標3 資源を賢く使う循環型社会形成を加速する 	家庭から出されるごみの排出・分別ルールを守る
	マイバッグやマイ箸を日常的に持ち歩き、不要・過剰な包装は積極的に断る
	食品を買い過ぎず、料理を作り過ぎず、外食時に注文し過ぎない
	不適正な分別・排出が収集運搬車やごみ処理施設に支障を及ぼすことを理解し、適正に分別・排出を行う
	区会などで設置したごみ集積所を適切に維持管理し、効率的なごみの収集に協力する
基本目標4 安心して快適な生活環境を次世代につなぐ 	市や市民団体の主催する環境美化活動や市内一斉清掃に積極的に参加する
	ごみが散乱ないように、ごみは正しく排出する
	窒素酸化物などの大気汚染物質の排出や生活排水による水質汚濁を、日々の暮らしの中でできるだけ減らす工夫を実践する（例：油を流さない、合成洗剤の使用を減らす）
	ごみの野焼きを行わない
横断的目標1 市民・事業者が共に環境を学び、考え、行動する	環境に対する関心を持ち、積極的に情報を入手して理解を深め、環境リテラシーを身につける
	家庭から出た廃食用油を利用したバイオディーゼル燃料づくりや未利用食品が必要な施設や人への提供協力など3R活動に対し関心を持ち、積極的に協力する
横断的目標2 環境と経済の好循環を目指す	事業者による環境配慮活動に積極的に協力する
	市域で行われる環境技術の実証実験に協力する

事業者編

基本目標	期待される取り組み
基本目標1 先進的な脱炭素都市を形成して気候変動に対処する 	商品に省エネラベルなどを掲載し、その良さを説明することで、消費者の理解促進に努める
	事業活動に伴う環境負荷などの情報を収集・把握し、CSR 報告書などにとりまとめて、積極的に発信する
	新設・既存施設への太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入、改築の際の断熱改修や省エネ設備の導入を進める
	事業で利用する自動車をEV等に転換する
	公共交通機関や自転車、徒歩による通勤を奨励する
従業員の安全のため、「つくば市防災ガイド 洪水・土砂ハザードマップ」を確認するなど、風水害に対する事前の備えを行う	
基本目標2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ 	事業所内緑地の自然共生サイト等への認定・認証を目指す
	自社の事業活動の生物多様性への良い影響と悪い影響を把握し、事業活動が生物多様性に与える影響をできる限り小さくする
	生物多様性に配慮した経営に取り組み、本業へのメリットを生み出す
	花と緑の市民協働事業等による花壇などの管理に参加・協力する
	市の自然観光資源をいかした体験型プログラムを開発したり、農業体験イベントに参加したりするなど、エコツーリズムやグリーンツーリズムを推進する
基本目標3 資源を賢く使う循環型社会形成を加速する 	事業活動で生じる紙ごみの資源になるものをリサイクルする
	消費者に対してマイバッグ持参の推奨を行う
	不適正な分別・排出がごみ廃棄物処理施設に支障を及ぼすことを理解し、事業所から出される廃棄物の分別・排出ルールを遵守する
	自らの責任のもと、一般廃棄物と産業廃棄物を区別し、適正に処理する
	製造業者は処理困難な物質や有害物質をできるだけ含まない製品をつくり、小売業者は消費者に対して適正な処理方法の周知や回収サービスの提供を行う
基本目標4 安心して快適な生活環境を次世代につなぐ 	市や市民団体の主催する環境美化活動や市内一斉清掃に積極的に参加する
	事業所の周辺を清潔に保つ
	大気汚染防止法、騒音規制法や振動規制法、茨城県生活環境の保全等に関する条例などの関係法令を遵守した事業活動を行う
	事業所周辺の住民と日常的に良好なコミュニケーションをとり、苦情発生を防止する
横断的目標1 市民・事業者が共に環境を学び、考え、行動する	従業員一人ひとりが事業活動の中で環境行動を践めるよう促す
	事業所内の緑地を学びや教育の場として提供したり、自然体験会の場として提供したりする
横断的目標2 環境と経済の好循環を目指す	環境をビジネスの機会と捉え、技術開発や設備投資に取り組む
	脱炭素経営に取り組み、本業へのメリットを生み出す